

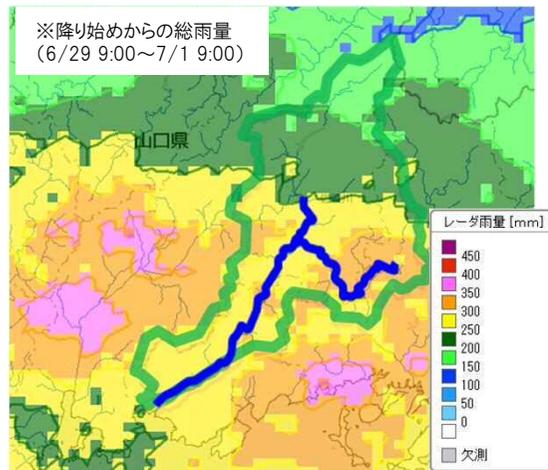
令和5年6月30日からの大雨による出水状況

① 気象概要及び佐波川の状況

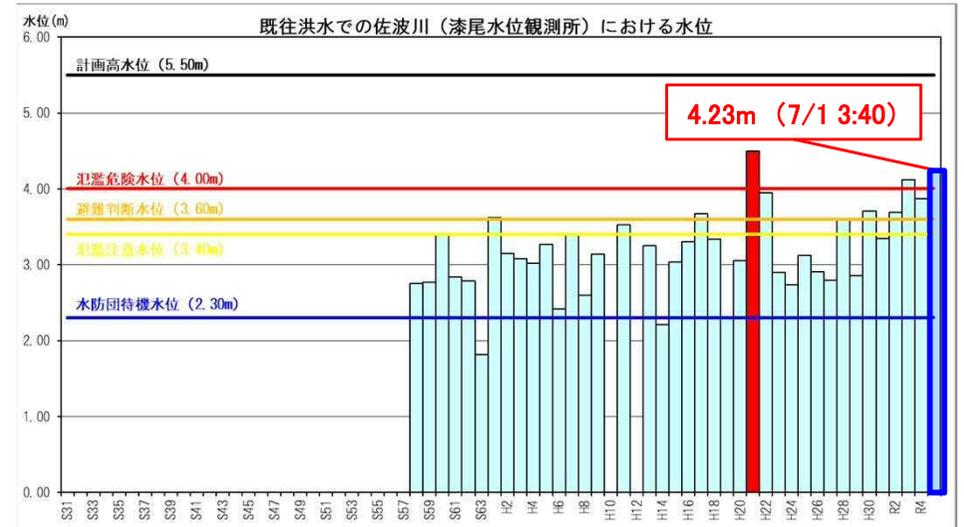
- 令和5年6月30日から7月1日にかけて、梅雨前線に向かい南から暖かく湿った空気が流れ込み、九州北部から山口県では、前線の活動が活発化しました。1日未明には山口県において「線状降水帯」が発生しました。
- 佐波川流域では、令和5年6月30日未明から2日未明にかけて大雨となり、堀雨量観測所では2日雨量が260mmと、平成21年7月豪雨の雨量を超過する記録的な雨量を観測しました。
- 佐波川水系佐波川漆尾地点において、氾濫危険水位(4.00m)を超過し、最高水位4.23mを記録しました。



▲観測所位置図



▲累加雨量図（レーダ雨量）【国土交通省作成】

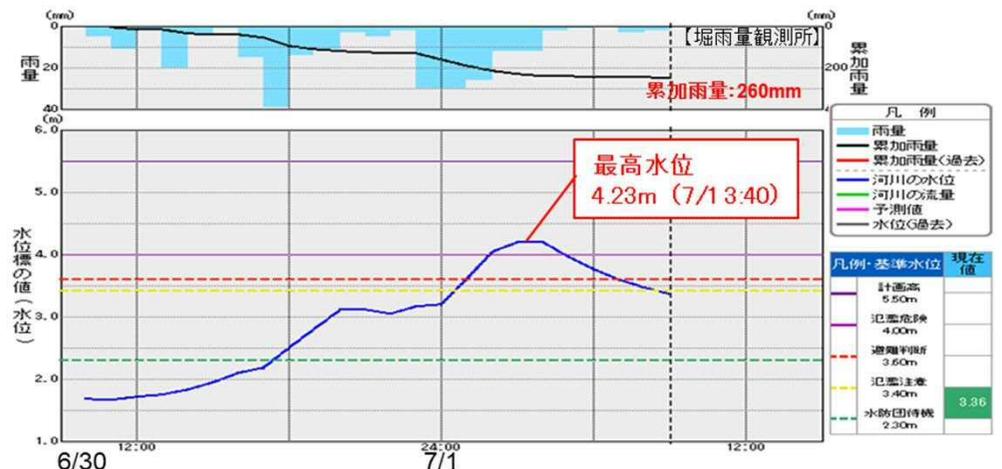


平常時



7月1日 6時頃

▲CCTV画像（漆尾水位観測所付近）

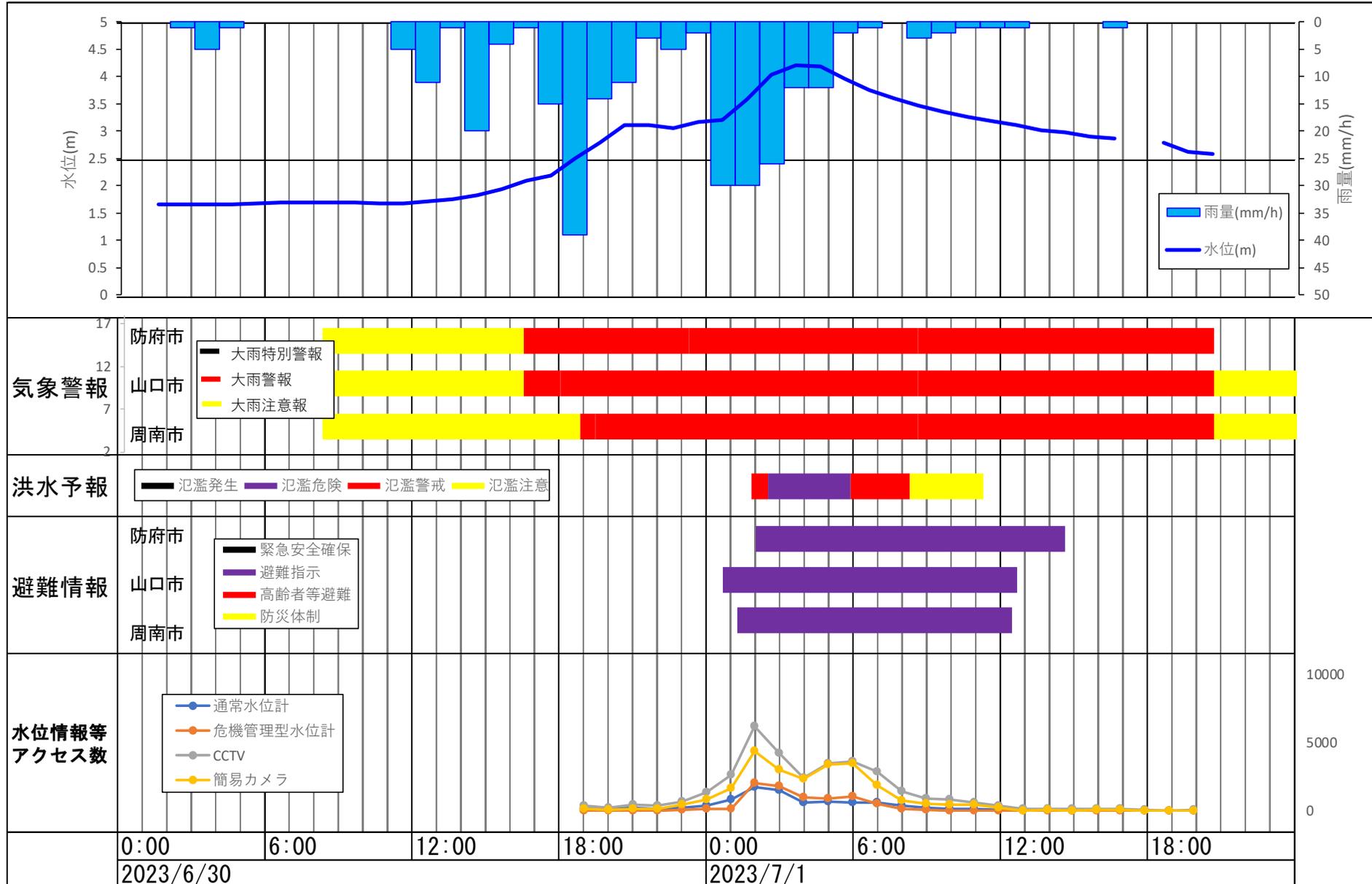


▲佐波川における雨量・水位観測状況

※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

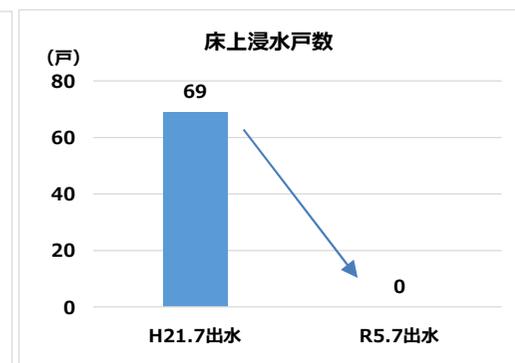
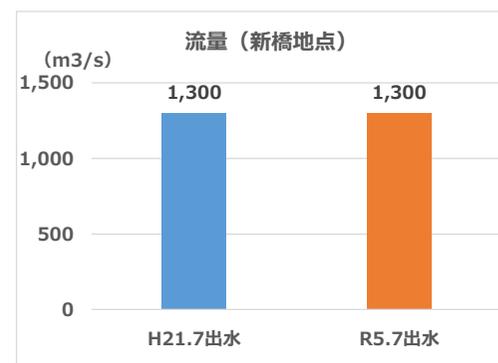
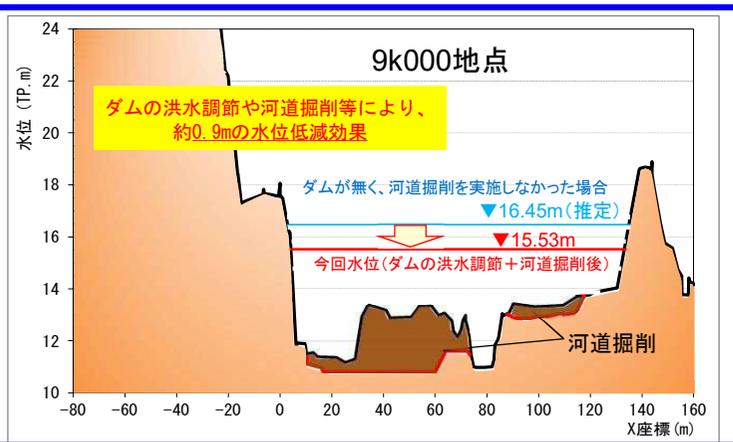
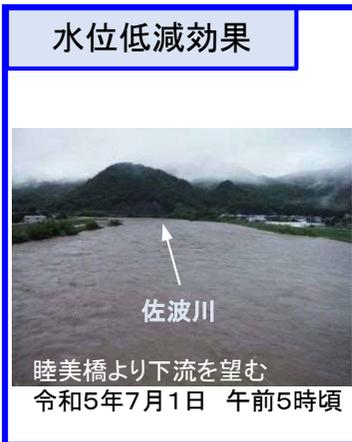
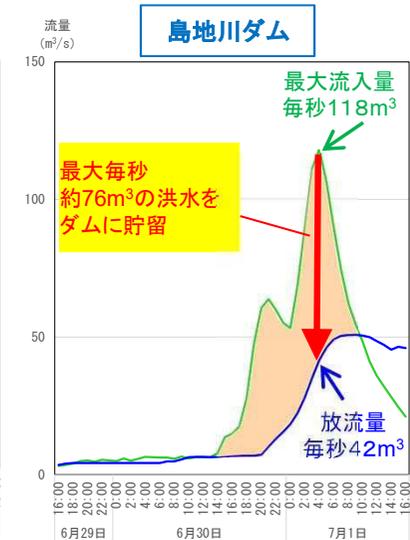
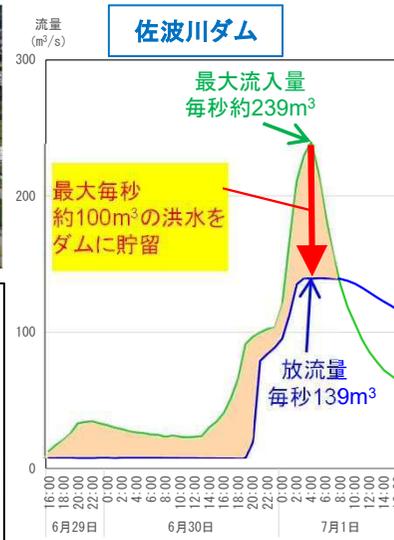
②情報発信の状況

- 大雨警報及び佐波川氾濫危険情報が発表され、防府市、山口市、周南市では避難指示が発令されました。
- 洪水予報が発表された7月1日未明において、水位計や河川カメラ等の防災情報へのアクセス数も急増しました。



③ダムの洪水調節や河川改修による治水効果

- 佐波川流域では、「防災・減災・国土強靱化のための3ヶ年緊急対策」で河道掘削を実施してきたこと、島地川ダム(国)及び佐波川ダム(山口県)による洪水調節を実施したことにより、9k000(防府市上右田地先)付近において約0.9mの水位低減効果を発揮しました。また、「防災・減災、国土強靱化のための5ヶ年加速化対策」も活用し、2k800(防府市佐野地先)付近において、支川甲久保川との合流点付近の堤防及び樋門の整備を実施したことから、浸水被害を防止しました。
- 今回の出水では、平成21年7月出水と同規模の流量(速報値)でありましたが、これまでの治水事業および砂防事業により浸水被害を大幅に軽減しました。



※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

④佐波川の被害状況等

■ 佐波川流域では、霞堤2箇所において浸水被害が確認されました。



佐波川左岸22k400付近（山口市徳地伊賀地）
霞堤箇所の農地浸水 約0.4ha
⇒解消



佐波川左岸12k690睦美橋付近
(7月1日3時頃)



佐波川左岸24k800漆尾水位観測所
ピーク水位付近（7月1日4時頃）



佐波川左岸15k600付近（防府市和字）
霞堤箇所の農地浸水 約0.5ha
⇒解消



●・・・溢水箇所
●・・・CCTV画像

※ 数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。